

かものがわ川柳

3.11 被災地復興・支援・連帯／反原発
2019

今年のお題

「かわる」 「自由題」も可

2013年「3.11 被災地復興へ支援と連帯を川柳で」の呼びかけではじまった「かものがわ川柳」は、多くの投句に支えられ、ことし7年めをむかえます。

2019年のお題は「かわる」です。「自由題」での投句もお受けいたします。

日本の原発輸出は頓挫し、方針転換必至。まもなく新元号へ、かわる。不祥事相次ぎ、長過ぎる政権も潮目はそろそろ代えどきか。進まない被災地の復興へ、迫られる課題と、代えられない想い。

さらなる支援と連帯の川柳作品をお寄せください。



PAK88_kararetazassou_TP_V.jpg フリー画像による

募集要項（投句規定と投句方法について）

- 投句は一人5句まで。二重投句はできません。
- 投句の方法は、「官製はがき」または「ホームページ」から投句できます。
- 「かものがわホームページ」からの投句：kamogawa.co.jp に投句欄を設けます。
- 「官製はがき」による投句
 - ・はがき1枚に一句。
 - 「お題」と「投句川柳」および「作者名（筆名可）、住所（市町村名まで）」のみお書きください。
 - ・はがき宛名面には以下をお書きください。
 - 「宛先」（〒602-8119 京都市上京区堀川出水西入・かものがわ出版川柳係）
 - 「投句者の本名・ご住所・電話など連絡先」を必記。
 - ・個人情報は企画関連のご連絡に限り使用いたします。
- 締め切り日：2019年5月末
- 発表と表彰：優秀句を表彰し、適時開催予定の「かものがわ講演会」会場にてご披露いたします。
- 選者 安齋育郎さん（安齋科学・平和事務所所長、立命館大学名誉教授）
越智ひろ子さん（朝日新聞京都川柳最優秀賞、読売新聞京都よみうり文芸川柳授賞）
平賀胤壽さん（前朝日新聞滋賀柳壇選者、滋賀民報選者）
前中知栄さん（京都番傘川柳会会長、毎日新聞柳壇選者）
真鍋宗平さん（造形作家）
- 主 催：かものがわグループ（かものがわ出版・新日本プロセス）
連絡先：〒602-8119 京都市上京区堀川出水西入 TEL 075-415-7902 FAX 075-415-7900